

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 8 月 22 日 更新

事務事業名		各種道路整備期成会等参画事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	5 都市基盤の健康				所属部	都市建設部	課長名	原田 和彦
	施 策	24 計画的な道路の整備				所属課	建設課	担当者名	齊藤 一
	施策の柱	66 計画的な道路の整備				所属班	維持管理班	(内線)	5260
予算科目		会計一般	款 8	項 1	目 1	事業連番 10001	根拠法令		
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	平成28年度より(事業番号10001:各種道路整備期成会等参画事業へ事業名変更)し、各種期成会負担金を統合。各種期成会・協会への参画。事務局が本市に設置されている期成会の運営。
【業務の流れ】	・総会への参加。情報の共有化。負担金の支払い ・総会の開催、出納管理、要望活動の実施、関係行事の開催
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金、旅費
【意見や要望】	中九州横断道路、大津植木線など広域幹線道路の早期完成を望む声がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 中九州地域高規格道路推進期成会については、事務局として運営を行い、総会の開催や国・県・県選出国議員へ要望活動を行った。また、主要地方道大津植木線バイパス建設促進期成会・大津植木線等整備改修促進期成会についても事務局として運営を行い、県への要望等を実施し、負担金を適正に処理した。また各種期成会総会に出席した。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) ・総会への参加、情報の共有化、負担金の支払い ・総会の開催、出納管理、要望活動の実施、関係行事の開催
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア: 総会への出席		主要幹線道路の事業進捗に伴い勤務時間外における説明会開催等が見込まれる事による時間外勤務手当の計上に伴う増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 箇所	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
各種期成会		→ ア: 要望箇所
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) 回	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
国・県の道路整備等事業を促進するための要望活動などが円滑に実施できる。		→ ア: 要望回数
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
地域に密着した市町村が国へ要望を行うことで、状況の把握が出来、道路等の早期整備に繋がる。		0

(2) 各指標・総事業費 の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込	
① 活動指標	ア	回	2	2	11	6	11	11	11	11	
	イ										
② 対象指標	ア	箇所	10	10	10	10	10	10	10	10	
	イ										
③ 成果指標	ア	回	2	4	2	7	2	2	2	2	
	イ										
投資 事業 費 量 人 件 費	財 源 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	470	586	695	673	758	695	695	695
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	470	586	695	673	758	695	695	695
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正 規 職 員 従 事 人 数	正規職員従事人数	人	5	5	6	5	6	6	6	6
		延べ業務時間	時間	1,730	1,820	1,030	2,470	1,030	1,030	1,030	1,030
		(B) 人件費計	千円	6,764	6,926	4,103	8,995	4,103	4,103	4,103	4,103
トータルコスト(A)+(B)			千円	7,234	7,512	4,798	9,668	4,861	4,798	4,798	

事務事業名	各種道路整備期成会等参画事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	----------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5 年度的事後評価、ただし複数年度事業は 5 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5 年度目標達成度評価	☒ 達成した 県、各市町村と連携し、総会への出席や要望活動により国県道の整備促進を図れた。
	② 6 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 引き続き国等への要望活動、並びに情報の共有化を実施していく。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 可能な限り積極的に要望活動等に取り組んでおり向上の余地はない
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 県下全市町村または関係市町村が負担をしており、削減の余地はない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 総会への参加、負担金の支出、要望活動の実施であり、正職員以外では対応できない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 市民の安全や利便性、経済効果を確保するもので、公平公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 会員は、行政団体であり役割分担は適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

総会への出席や負担金を支払い協会参画の意義とともに参画自治体との共有化が図れた。また要望活動により国県道の整備促進を図れた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		○																									
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												